



# 宮城おおさき移住支援センター NEWS LETTER

おおさき暮らしを  
始めた方の  
今を伝える

VOL.06  
MAR, 2026

## 「居久根」が教えてくれた、大崎の魅力と価値

移住を検討している方からこんなお話をうかがいました。  
「自然を身近に感じながら、地域の中で暮らしてみたい  
居久根のある暮らしが理想です」

「居久根」とは…家のまわりに植えられた屋敷林

首都圏の方には珍しい「居久根（いぐね）のある暮らし」。居久根は、風や雪から家を守るだけでなく、春には小鳥のさえずりが聞こえ、夏にはカエルの鳴き声が聞こえてきます。秋には黄金色の稲穂が一面に広がり、冬には秋に実った柿を干し柿にして味わう。そんな四季折々の移ろいを身近に感じられる空間に、居久根を見学した方も興味深そうに耳を澄ませておられました。

私たちにとっては日常の中にある見慣れた風景も、外からの視点で見つめ直すことで、地域に受け継がれてきた大切な魅力であることを再認識する機会となりました。



居久根の  
空き家情報  
募集中

## 大崎市空き家バンク制度 を活用しよう

賃貸や売買ができる空き家を「空き家バンク」に登録いただき、移住希望者などに紹介します。

空き家  
所有者

空き家になる前に  
まずはご相談  
ください

仲介契約  
空き家バンク登録申込書

協力事業者

不動産  
事業者

物件情報  
提供



宮城おおさき  
移住支援センター

物件情報  
提供

空き家を  
利用した  
い方

物件情報問合せ

## 宮城おおさき移住支援センター CU:RUS(くーらす)の役割

大人気!

### ●オーダーメイド移住体験会の開催

大崎市の暮らしや雰囲気・環境などを知ることができます。企画型（まち歩き・空き家見学等）とオーダーメイド型で“おおさき暮らし”を体験しましょう。

こんな体験会を開催しました！

11/4「居久根見学」体験 12/6「鳴子温泉地域見学」体験

世界農業遺産に認定された「居久根」の豊かな暮らしを見学！

手湯体験や地域の方と触れ合いました。

参加者からの感想  
居久根の暮らしぶりを知ることができて良かった  
埼玉県N様

参加者からの感想  
地元の人との交流や温泉で心と体があたたまった  
東京都T様



## 大崎市空き家バンク 空き家登録募集中

空き家は時間が経つにつれて老朽化が進み、管理が難しくなります。手遅れになる前にぜひ対策を講じましょう。大崎市空き家バンクでは、市内の空き家物件の登録を募集しています。空き家の売却や賃貸をお考えの方はぜひ一度、宮城おおさき移住支援センターCU:RUSまでご相談ください。



新規登録  
増加中！



にじのはしスパイクリニック宮城分院

まつだ あきこ  
院長 **松田 聡子**さん

大阪府出身  
2000年に宮城県へ  
その後三本木地域へと移住。



猫の不妊去勢手術専門病院、にじのはしスパイクリニック宮城分院の院長。猫の過剰繁殖にかかる問題解決のために、同じ志を持つスタッフ2名と共に2025年5月に開院した。



## 地域の猫を救う移動病院 🐱🏠🏠🏠

大阪府出身の松田聡子さんは結婚を機に宮城県へ、その後三本木地域に移住しました。

公務員獣医師として働いていた際は、地域猫も含めた野良猫に関する問題が多く、「なかなか本当の問題解決に至らない」と思うことが多かったといいます。

野良猫に餌を与えていると2年後には80匹ほどに増えてしまい、みんな安心して過ごせなくなります。

そこで手術に特化した移動式病院（ニコワゴン）で、必要なおきに必要なお場所へ出向き、なるべく安い価格で不妊去勢手術を提供し、野良猫が増えるのを防ぐ「入り口対策」を行っています。

また、手術と並行して啓発活動も積極的に行っています。鹿島台地域や鳴子温泉地域の区長会で「野良猫に餌を与えるならば、不妊去勢手術を行うこと、餌を置きっぱなしにしないこと、トイレを作ることが見守る側のマナーとして大切」ということを地域の人たちに呼びかけました。

松田さんの最終目標は、「猫が好き・嫌いを問わずにみんなができることをちよつとずつ持ち寄って野良猫の問題を解決し、『ネコがしあわせにヒトがおだやかに』過ごせる地域社会を実現すること」です。その目標実現のために今日もニコワゴンは走っています。

## 宮城で始まった新しい暮らし

松田さんが初めて宮城に降り立ったのは、25年前の11月。特に寒さの厳しい年である朝、干していた洗濯物が凍りついていてことに衝撃を受けたといいます。

また、大阪とは言葉や文化の違いもあり、「ピーちゃんにご飯をかせてくる(食べさせてくる)」という言葉が、実は「ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃん」を指していたと知り、驚いたこともあったそうです。

三本木は、東北新幹線や高速道路など交通アクセスが良く、手術に向かうときもすぐ高速道路を利用できる点に、安心して暮らせる魅力を感じていると話してくれました。

料金やご予約については右Webサイトからご確認ください



松田さんオススメ！スポット /

パン工房 青い虹

「体が優しくなる食べ物ばかりです♪手術の時間が空いたときはスタッフと行きます。」



実はCU:RUSスタッフも隠れファンです！

「幸せのにおいがするカフェです♪」

大崎市三本木町浦88  
営業日：木金土日  
11:00～17:00

発行：宮城おおさき移住支援センターCU:RUS（くーらす）

運営：NPO法人おおさき地域創造研究会（大崎市業務受託団体）

宮城県大崎市古川米倉字屋敷42-1 9:00～17:00 土日祝休

☎ 0229-25-4493

✉ info@osaki-ijyu-support.jp



この記事の動画も  
閲覧できます！